

【知】重点課題 学習の習慣化、基礎・基本の定着、反復練習の重視

目 標… 「自主的に学習ができる生徒」80%以上

※実践目標 「その日の授業に関連する学習（宿題や復習）に終学活以降の時間を使って自分から取り組もうとした」生徒が80%以上

前年度の反省 「授業の内容を理解し、その時間の課題を解決することができた」と思う生徒の割合が82.3%であったが、授業での学習を家庭学習に効果的にはつなげられていなかった。生徒にとって学習内容が分かる授業を展開し、そこで理解できた内容を、復習や応用等「自主学習したい」というやる気につなげられる課題を準備したり、互いに励まし支え合う関係をつくり、仲間の力を借りて「やる気」を向上させられるような取組を仕掛けたりすることで、自主的に学習しようという意欲を高めることが課題である。

学 習 指 導 宿題も含め、授業中の振り返り等で表出した課題に対し、自主的な取組ができるよう支援していく必要がある。自ら取り組んでみたい、調べてみたいと思えるような学習課題の工夫や家庭学習の仕方について指導しながら定着を図っていききたい。

生 徒 会 活 動 学習委員会で「家庭で学習に向かえるコツ」を話し合い、学校全体に紹介するなどして、生徒の実態に応じた意欲付けはどのようなものがあるか検討を重ねていく。

そ の 他 水曜のノー部活動デーを利用して、漢字、計算、英単語等のドリル学習に取り組める機会を定期的に設け、教え合い学習をしたり反復学習を行ったりすることで「できた」「身についた」「スムーズに取り組めた」といった達成感を味わい、「もっとやりたい」気持ちを促進して、学習の習慣化への流れづくりをする。